

十 小阪鑛山花岡支山争議

百四十三頁

十一 阿仁鑛山争議

百四十七頁

十二 池貝鐵工所争議

百五十六頁

十三 中山亞鉛渡金工場争議

百六十九頁

十四 株式會社日本製鋼所廣島工場争議

百八十二頁

十五 日本郵船株式會社争議

百八十九頁

十六 岸和田地方四紡績工場争議

二百〇五頁

第二章 労働争議の概況

第一 大正十一年以前の概況

本邦ニ於ケル労働争議ハ、規模乃至性質ヨリ見テ之ヲ歐州大戦前及歐州大戦後ノ二様ニ大別シ得ヘシ大戦前産業ノ発達未ダ充分ナラザリシ時代ニ在リテハ労働争議トシテ觀ルバキモ、殆ド無ク日清日露戰爭以後産業ノ興隆ニ伴ヒ周期的ニ増加シ、^極熾盛アリシモ未ダ以テ單純ノ境ヲ脱セズ物價ノ